

公立短期大学協会 第53回事務職員中央研修会を開催

全国公立短期大学協会（会長：柳沢幸治 大月短期大学学長）では、8月2日（火）～3日（水）の2日間、オンラインにより34名が参加して事務職員中央研修会を開催した。

第1日目は、午後2時に開会し、柳沢会長の挨拶と講話、来賓の文部科学省大学振興課課長補佐江戸朋子氏から挨拶があり、つづいて、大学振興課短期大学係長東尚平氏による「短期大学制度及び短期大学を巡る文教政策の状況について」及び大学入試室入試第二係長福田翼氏による「大学入学者選抜改革等の動向について」、それぞれ資料に基づき説明が行われた後、質疑が行われた。

「情報交換会」では、助言者に大学振興課課長補佐江戸朋子氏と短期大学係長東尚平氏ほかの参画を得て、研修生の司会進行で進められ、第1部では、各校から提出された「大学が当面している課題（オープンキャンパス等のハイブリッド開催など）」、「災害への対応状況等（サバティカル研修と新型コロナウイルス感染症など）」について、各校の発表を巡って情報交換と協議が活発に行われた。

第2日目は、午前9時から第2部の「情報交換会」が行われ、「学務・学生支援業務関係(webによる学生支援サービスなど）」、「管理・運営関係（学生への施設の貸出しなど）」について、様々な課題と対策を巡って熱心な情報交換と協議が行われた。

行政説明では、学術研究推進課企画室室長補佐吉田正男氏による「科研費の最近の動向」及び学生・留学生課厚生係長玉川雄大氏による「学生支援について」、それぞれ資料に基づき説明が行われた後、質疑が行われた。また、「認証評価について」では、(公財)大学基準協会の評価研究部企画・調査研究課課長松坂顕範氏から、内部質保証やオンライン教育とポストコロナ後の質保証の動向を含めての説明が行われた。

午前12時に、来賓の江戸朋子氏から講評があり、柳沢会長の挨拶をもって研修会を終了した。(了)